

## 平成30年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

### 佐世保市立金比良小学校



校長：高島 秀雄  
児童数：135名 学級数：7学級  
所在地：佐世保市金比良町1番5号

**学校教育目標**  
心豊かで  
確かな学力を身につけた  
心身ともにたくましい子ども

#### 1 目的

本校では、教育目標の具現化に向け、以下のことを中心として特色ある学校づくりに取り組み、「知」「徳」「体」のバランスのとれた子どもの育成をめざしている。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| (1) 英語教育の推進   | (4) 心を育む体験活動の充実   |
| (2) 小中一貫教育の推進 | (5) 読書活動の充実       |
| (3) 確かな学力の定着  | (6) 外部人材・施設の積極的活用 |

#### 2 主な実践内容

##### (1) 英語教育の推進（コミュニケーション能力の育成）

平成27年度から教育課程特例校の指定を受け、全学年に英語教育を実施している。英語を通じてコミュニケーション能力の素地を養う学習に取り組んできた。これまでの実践を踏まえ、今後は研究主題「いきいきと思いを表現する子どもの育成 ～考えて話す英語教育を通して～」のもと、小中一貫教育による英語教育の研究を進めてきた。特に相手意識を持って、進んで英語を使い、自分の気持ちや考えを表現し、相手の気持ちや考えを理解しながら、いきいきとコミュニケーションをとる子どもの育成を目指した。

##### 英語の公開授業（全学年）

今年度は、11月28日に全学級「公開授業」を行い、英語に親しむ子どもたちの姿を参観者に披露した。子どもたちが楽しく英語にふれ、興味関心を高め、いきいきと学ぶことができるように授業研究、教材開発や交流活動等を進めた。

授業では、新学習指導要領の内容を見据えながら、歌やチャンツ、ゲームを取り入れ、楽しく学べる工夫をした。また、Smile 笑顔で、Eye Contact 相手の目を見て、Clear Voice はっきりした声で、Gesture 身振り手振り、Response 反応してのコミュニケーションのめあてを子どもたちにしっかり意識させて授業を進め、評価方法も工夫した。

##### イングリッシュタイム・英語集会

イングリッシュタイムは、火・木の朝の帯時間（8:15～8:30）に楽しみながら英語に触れる活動として、チャンツ・アクティビティ・歌・書く活動（文字に触れる）などを取り入れた。キーワードゲームやカードゲーム、文字に触れる活動、大型絵本やCD・DVDの音声や映像を活用し、楽しく活動することができた。

##### 本物の英語に触れる（イングリッシュデーの開催）

本校はアメリカ海軍佐世保基地や基地関係者の居住区、光海中学校に隣接しており徒歩で行き来できる恵まれた立地環境にある。その環境を生かし、佐世保エメンタリースクール（幼・小学校）やキングスクール（中学・高等学校）との交流を通して外国の方々とのふれあいを積極的に取り入れ、子どもたちが英語を通じたコミュニケーションを体験できる機会を多く設けた。本年度は、10月末にイングリッシュデーを開催し、佐世保エメンタリースクールの4・5・6年生と全校児童がゲーム等を通して英語やジェスチャー等を使って積極的にコミュニケーションを楽しんだ。

### 環境整備・教材教具の整備

子どもたちが楽しく英語にふれ、学ぶことができるように、子どもたちが興味関心を高めるような英語の絵本やCD・DVD、アルファベット文字等を購入し、イングリッシュタイムや英語授業で気軽に使えるように準備した。

### 成果と課題

英語授業、イングリッシュタイム、英語集会、エレメンタリースクールとの交流、イングリッシュデーの開催、中学校の乗り入れ授業などの実践を通して、楽しく英語にふれ、生き生きとコミュニケーションをしている姿を見ることができた。公開授業においても英語教育における子どもたちのいきいきとした姿を見せることができた。

子どもたちが「英語を好きになること」「英語を楽しく学ぶこと」を第一に考えて研究を進めた。2月に行った英語に関する4段階アンケートでも、「英語は好きか。」の問いに対し、子どもたちの反応は「3.5」と、高い評価が見られた。「英語の学習は楽しいか。」の問いに対しても「3.3」と、昨年と同じくらいの評価結果となった。思春期を迎えている高学年の自己評価は、若干低く、昨年度より少し下がり方はしたものの、低学年は「楽しい」と感じている子が多いことがわかった。

今後は、場に応じて英語で話す機会をもっと多くつくり、「もっと英語で話したい。」「もっと外国の人とコミュニケーションを図りたい。」と思うような、金比良小ならではの「英語教育の実践」を行いたい。



【イングリッシュデー：佐世保エレメンタリースクールとの交流】

## (2) 小中一貫教育の推進

平成29年度から、金比良小学校と光海中学校が「小中一貫型小・中学校」としてスタートし、充実した教育活動ができるように、小中合同の学校支援会議を設置し、学校・PTA・地域がそれぞれの立場から見た児童生徒が一体となって、小中一貫校としての推進事業を進めた。

### 小中合同研修会の開催

夏季休業中を中心に年間を通して小中合同の研修会を開催し、小中9年間を見通した各教科のカリキュラム作成や見直し、乗り入れ授業の充実、学校行事・授業連携・校内研修・生活指導等の教育活動や学校組織の在り方についてなど、きめ細かに情報交換を行ってきた。

### 中学校教師による乗り入れ授業，中学校での体験授業の実施

6年生は生活の基盤を中学校とし、音楽・図工を専科として中学校の教師が入り、算数や英語、家庭等を中学校の教師とT.T.を行っている。また、5年生も中学校での体験授業を経験し、次年度からの中学校校舎での生活に慣れるための動きを経験している。

### 成果と課題

小中一貫型小中学校の2年目として、中学校教師による乗り入れ授業も定着してきた。6年生を対象に行ったアンケート調査では、徐々に中学校で過ごすよさ、中学生と触れ合うよさを感じることができてきたようだ。

ただ、課題も山積みで、行事によっては、小学6年生が中学校から小学校に移動しての活動も多くあり、行き来の問題がでている。環境を整えることも大事であるが、まずは落ち着いて学習ができるよう、今後も小中一貫教育の効果的な指導体制のあり方を考えた教育活動の充実を進めていきたい。



【小中合同縦割り遊び】

### (3) 確かな学力の定着

#### 課題にこだわった指導

全国・県・市の学力テストの結果を分析し、各学年における課題を明確にした。授業では、課題を意識した指導を国語、算数だけでなく他の教科においても実践した。2月に実施する学力テストを見据え、授業やスキルタイム、家庭学習で課題にこだわった指導を繰り返し進めてきた。また、弱点とされる個々の課題を克服できるように、「自主学習週間」を設け、選択して取り組むプリント学習にも力を入れた。

地域の人材の活用も行い、平成29年12月から「地域未来塾」も立ち上がった。「金比良小学校 学びのスタンダード」を活用しながら、学習規律、学習態度、学習方法などの学び方の育成にも継続的に取り組んでいる。

#### 少人数指導

算数では3・4・5・6学年で、T.T.指導や少人数指導、習熟度別学習を実施し、一人一人の学習内容の理解度や定着度を確認しながら個に応じたきめ細かな指導を行った。

#### 学力テストの実施

全学年で国語と算数の学力テストを実施(2月)した。その結果を詳細に分析して今までの指導の成果と課題を明確にし、今年度中に課題の重点補充をするとともに次年度の指導に生かすようにした。

#### 成果と課題

課題解決にこだわった指導、個に応じたきめ細かな指導を進めたことで、子どもたち一人一人の学習意欲の向上と学習内容の理解・定着を図ることができた。また、小中一貫で作成した「学びのスタンダード」を利用し、学習規律、学習態度、学習方法などの学び方の育成にも取り組んだ。その結果、単元末のテストでも、各教科の多くの単元で全国平均を上回ることができるようになってきた。今後は、2月に実施した学力テストの結果を分析し、今年度中に課題の重点補充をし、さらなる学力の定着、向上を図るとともに、次年度の全国・県・市の学力テストを見据え、次年度当初から課題にこだわった学習指導ができるようにする。

### (4) 心を育む体験活動

#### 花いっぱいの学校づくり

自分たちの学校を自分たちの手で花いっぱいのきれいな学校にしようと学級園や学校園に、パンジーやデージー、ノースポール、ヒマワリ、マリーゴールド、チューリップなどの花を年間通して計画的に育ててきた。1年生は一人一鉢で5月～9月にアサガオの栽培を、11月からは新しい1年生のためにチューリップの球根や春に咲く花の苗を植えて世話をした。

#### 野菜や米の栽培活動

5月～8月にミニトマト、枝豆、インゲンなどの夏野菜を栽培した。また、6月～11月には、さつまいも、10月にはブロッコリー、キャベツ、大根を栽培するなど、年間を通し計画的に栽培活動に取り組んだ。子どもたちは、次から次に熟していくたくさんのミニトマトを笑顔いっぱいで収穫していた。さつまいもの収穫では、たくさんできた芋を泥だらけになって掘りながら、収穫の喜びを味わっていた。



【2年：野菜栽培】

#### 成果と課題

花や野菜・米の栽培活動を通して、自然に親しむとともに、育てることの大変さや難

しさ、生長の楽しみや収穫の喜びを実感することができた。また、年間を通して花の栽培に取組み、花いっぱいの学校環境づくりを進めることができた。

## (5) 読書活動の充実

図書担当教諭と学級担任、図書ボランティアとの連携を図り、読書活動の一層の充実に努めた。

### 図書ボランティアによる読み語り・環境整備

図書ボランティアによる読み語り、朝の時間に月2回行われている。子どもたちも毎回大変楽しみにしている。また、8・9平和集会でも読み語りをしていただき、平和についての学習を深めることができた。読み語りだけでなく図書室の環境整備や本の修理、新刊図書の紹介、本の貸し出しなども積極的にしていただき、楽しく、温かい雰囲気図書室づくりに貢献していただいた。



【平和集会：図書ボランティア】

### 成果と課題

学校司書（週2回配置）と図書担当教諭、学級担任、図書ボランティアとの連携が密にとられ、読書に対する意欲の向上を図ることができた。今年度は、図書の貸出冊数が昨年度より10%程の増加となった。また、調べ学習等でも図書室を積極的に活用しようとする子どもたちの意欲も高まってきた。次年度も、読書意欲の向上をさらに高め、さらなる読書量の増加を進めていきたい。

## (6) 外部人材・施設の積極的活用

### 平和集会（6.29 佐世保空襲）

図書室にも平和コーナーを設置し、8.9の平和集会までの期間を平和学習月間として各学級で平和についての学習を充実させていった。

### 茶道クラブ

クラブの時間は毎回、地域在住の茶道の先生に教えていただいている。場所も西地区公民館の和室を利用し、茶道の心、礼儀作法等を学び、豊かな情操を育むことができた。また、日本文化のすばらしさを体験し、日本文化に対する興味関心を高めることができた。

### 「親子体力向上実践セミナー～元気アップファミリーフィット！！～」

県の事業である「親子体力向上実践セミナー」を12月の3・4・5年生の授業参観時に行った。講師であるスポーツクラブのインストラクターから、日常、親子でできるフィットネスについてレクチャーを受けると共に、身体を動かしながら、親子のスキンシップの大切さや健康への理解など改めて、親子で考える機会となり、よりよい学習をすることができた。

### 成果と課題

外国語や異文化、茶道などのそれぞれの分野に精通した方々から直接指導していただくことで、子どもたちの興味関心・意欲を幅広く高めることができた。これらの直接体験をいろいろな学習の場で関連づけることで、学習に広がりや深まりをもたらすことができた。また、友達との好ましいコミュニケーションの取り方などについて親子で学習することができたことは大変有意義であった。これからも、子どもたちの心を豊かにする体験活動を計画的に進めていきたい。



【元気アップファミリーフィット】